

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 藤井英俊
JIW第3委員会
委員長 芹澤久
(公印省略)

開催通知

第152回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お縟合せの上、
ご出席下さいますようにご案内申し上げます。

ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mailにて、事務局に2026年1月9日(金)までにお知らせ下さい。

記

1. 日時

2026年 1月 16日(金) 13:00～16:30

2. 場所

大阪大学 医学・工学研究科 東京ブランチ 912+913会議室

東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号 日本橋ライフサイエンスビルディング9階

3. テーマ

各種材料の接合及び各種接合技術の比較

4. 幹事会のお知らせ

幹事会を 913 会議室にて開催いたしますので、役員および幹事
または代理の方はご参集下さいますようお願い申し上げます。

第152回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

—各種材料の接合及び各種接合技術の比較—

1. 日 時：2026年1月16日(金) 13:00～16:30

2. 場 所：大阪大学 医学・工学研究科 東京プランチ

3. プログラム（都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます）

時間	題 目	講 演 者
11:00 ～ 12:00	幹事会の開催	
13:00 ～ 13:20	委員会（軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会）議事	
	司 会：山田 景太(三菱電機(株))	
13:20 ～ 13:55	銅板とアルミニウム板のメカニカルクリンチング性と接合部の電気抵抗 (MP-765-2026)	豊橋技術科学大学 ○安部洋平, 角谷 駿
	本研究では、2 mm厚さの銅C1100板と3 mm厚さのアルミニウムA1050板を用いて、各組合せに対して円形のメカニカルクリンチング接合を行い、接合性と接合部の電気抵抗の調査を行った。	
13:55 ～ 14:30	マツダの車づくりとスポット溶接技術紹介 (軽量高剛性化に向けた構造革新と省エネの実現) (MP-766-2026)	マツダ(株) ○上川路太雅
	難溶接板組の溶接性改善による構造革新と省エネを実現する「多段加圧溶接システム」について報告する。このシステムは川崎重工様、ナ・デックス様と三者で共同開発し、量産にて効果を得た。量産における難しさにフォーカスした解決、低コストでの量産適用を実現している。	
14:30 ～ 14:45	休憩	
	司 会：神谷 咲良((株)神戸製鋼所)	
14:45 ～ 15:20	超音波複合振動接合の接合現象に関する一考察 (MP-767-2026)	(株)LINK-US ○齋藤茂樹
	超音波接合は比較的古い接合技術であるが、異材接合が必要とされる昨今、再び注目されつつある。そこで、超音波複合振動による接合現象について考察する。	
15:20 ～ 15:55	固相接合されたAl合金継手の高強度化： 摩擦攪拌接合(FSW)と線形摩擦接合(LFW)の比較 (MP-768-2026)	広島大学 ○崔 正原, 日野隆太郎 大阪大学 潮田浩作, 藤井英俊 韓国工学大学 Seung-Joon Lee
	本研究では、Al合金の継手強度の向上を目的として線形摩擦接合を行い、微細組織と引張特性を評価している。摩擦攪拌接合されたAl合金継手と比較しながらAl合金の線形摩擦接合について説明する。	
15:55 ～ 16:30	Al合金板と鋼板の三枚重ね異材スポット溶接におけるIMC形成機構 (MP-769-2026)	大阪大学 ○池田倫正, Pan Haoyang (株)ナ・デックス 成田健一郎, 佐橋賢治, 川松 悟
	AI合金板／軟鋼板／高張力鋼板の三枚重ね異材抵抗スポット溶接において高電流条件で通電時間を変化させた実験結果をもとに、AI-Fe接合界面でのIMC形成機構について考察した結果を報告する。	

※○:講演者

配布資料について

当日の配布資料は委員会開催前にダウンロードシステムを利用し皆様へご送付致します。
開催当日までにご自身にて印刷を行っていただきご準備のうえご参加をお願いいたします。
✓配付資料は各自でご持参ください。会場に紙資料のご用意はございません。

(案内図)



アクセス

- ・東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅A6出口より徒歩3分
 - ・JR総武本線「新日本橋」駅 5番出口より徒歩2分
 - ・JR各線「神田」駅 南口より徒歩 11 分
 - ・JR各線「東京」駅 新日本橋口より徒歩 17 分

以上